

検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、下記に掲げる検査項目におきまして、検査内容を変更させていただきたくご案内申し上げます。

何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬白

記

■実施日 平成 28年12月1日(木)ご依頼分より

■変更内容

案内書 掲載頁	項目コード 統一コード	検査項目	変更箇所	新	現
72	4464 5F015	HBV DNA定量	国際単位の併記	Logコピ ^o -/mL LogIU/mL	Logコピ ^o -/mL

※Logコピ^o-/mLからLogIU/mLの単位換算式はLogコピ^o-/mL-0.76=LogIU/mLとなります。
国際単位の定量値下限は、1.3LogIU/mL未満となります。

※今後、測定試薬が新しくなった際に、国際単位(LogIU/mL)に変更する予定です。
詳細が決まり次第、改めてご案内申し上げます。

■日本肝臓学会からのお知らせ

『一般社団法人 日本肝臓学会』からの通知文は裏面に転載してあります。

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは当社インフォメーションまでお申し付けください。

HBV-DNA量の単位に関する標記方法についてお知らせします

2016年6月29日

会員 各位

一般社団法人 日本肝臓学会
理事長 小池 和彦
企画広報委員会 委員長 持田 智

HBV-DNA量の標記方法に関して

わが国ではHBV-DNA量の測定にTaqMan法とAccuGene法が用いられており、何れも国際的に認可されたIU/mL単位の数値を、それぞれの測定法の係数によって変換して、copies/mL単位で表示しています。しかし、これら測定キットの試薬等は、今後、新たになる予定があり、その際、copies/mLを用いていると、更新前の数値との比較が困難となります。

そこで日本肝臓学会はHBV-DNA量の単位として、「当面はcopies/mLとIU/mLを併記し、測定試薬等が新たになった後にはIU/mLに統一する」ことを決定しました。このため2016年1月以降に日本肝臓学会が発刊した文書、ガイドライン等は、これに従って両単位の数値を併記しています。また、各検査会社が利用者に報告する用紙には、copies/mLの場合と同様に、Log表記とすることを決定いたしました。

そこで、会員の皆様の混乱を避けるために、HBV-DNA量に関して、TaqMan法、AccuGene法ともに「Log IU/mL」と「Log copies/mL」を併記し、測定キットの更新後は「Log IU/mL」に一本化することを、各試薬のメーカーと臨床検査センター・企業にお願いしました。HBV-DNAを院内で測定されている医療機関では、学会員の皆様からも、当該部門に周知するようお願い申し上げます。

現行のTaqMan法、AccuGene法の単位の換算は下表のようになります。

測定法	会社	基準値 2,000 IU/mL	1 IU/mL	検体	定量感度
TaqMan	ロッシュ	4.07 Log copies/mL	5.82 copies/mL	血清	2.1 Log copies/mL
				血漿	1.3 Log IU/mL (20 IU/mL)
AccuGene	アボット	3.83 Log copies/mL	3.41 copies/mL	血清	1.5 Log copies/mL
				血漿	1.0 Log IU/mL (10 IU/mL)

なお、検査センター・企業からの報告書は、Log換算で数値が記されますが、欧米の論文等に投稿する際には、実数に変換することを要求される場合があります。

以上